

技術監理局



一般会計要求総額 147百万円
(対前年度 +18.7%)

【令和8年度 予算要求の方針】

技術監理局は、公共工事の適正な執行と経済的でより高い品質確保に向け、設計・施工のサポートと品質検査の実施、技術職員の更なる技術力向上を図る。契約事務では、より良い市民サービスのため、公平・公正で効率的なルールを提供し、更なる競争性・透明性の確保や地域経済活性化への貢献を目指す。

【模様替えの考え方】

契約管理の分野において、事業目的が類似する北九州市入札等監視委員会運営経費などを再構築した。

【令和8年度 予算要求の基本的な考え方】

○新：新規事業、○拡：拡充事業

●「稼げるまち」の実現 要求額 6百万円 (対前年度 +333%)

先進的で持続可能な建設業の実現のため、i-Constructionの推進による生産性向上を図り、建設業の魅力発信を行うことで、若手や女性技術者の活躍機会の拡大を目指す。また、脱炭素の取り組みとして、公共工事において、温室効果ガス排出量を製造過程で大幅に削減した鋼材の試行活用を行う。

- (○) 明日の公共事業を支える若手・女性技術者の確保育成事業
- ・i-Construction推進事業
- (○) 公共工事におけるグリーンスチール試行活用事業

●「彩りあるまち」の実現 要求額 32百万円 (対前年度 +204%)

工事の積算から契約・検査までの一連の手続きのDX推進により、企業と市の双方の業務の効率化やコスト削減を図る。

- (○) 契約管理システム等再構築に係る調達支援業務
- ・電子入札・契約管理システム改修等経費



●「安らぐまち」の実現 要求額 87百万円 (対前年度 ▲1.1%)

公共工事の適正な執行のため、設計積算基準等の適時改定、建設材料試験の実施やパトロールによる安全指導を行うとともに、市発注工事等に対する不当介入の防止に努める。加えて、市民の安全・安心を守る公共事業の担い手確保・育成に向けて、建設業の「働き方改革」「生産性向上」を更に推進し、建設業の「魅力発信」を行う。

- 公共工事の適正な執行及び技術職員の育成強化
 - ・土木資材単価調査業務
 - ・技術管理関連業務
 - ・建設材料試験場管理運営事業
 - ・公共工事安全対策強化事業
 - ・公共工事契約適正化相談業務・技術職員資格取得支援事業
- 建設業の「魅力発信」「働き方改革」「生産性の向上」の推進
 - ・公共工事関係部署のDX推進事業
 - ・公共工事関係部署における「しごと改革」推進事業 他



●その他の取り組み 要求額 22百万円 (対前年度 ▲9.6%)

技術系部局の建設行政の課題に対し、総合的な支援を行う。また、入札参加資格審査や北九州市入札等監視委員会などを通じて、公平・公正な入札及び契約に努める。

- ・技術監理一般管理業務
- ・契約管理事務
- ・入札参加資格審査 他

※ 公開時点での予算要求の内容であり、令和8年度に実施することが確定しているものではありません。

重点的に取り組みたい主なもの

(単位：千円)

「稼げるまち」の実現		
1	拡	<p>【事業名】 明日の公共事業を支える若手・女性技術者の確保育成事業【事業費】 5, 0 0 0千円</p> <p>【事業概要】 まちの安全・安心を支える建設業の担い手確保に向け、建設業の魅力をさらに強く発信していく。具体的には、地元建設業魅力発信ポータルサイト（仮称）や働き方改革等に実践的に取り組む地元建設業の紹介、現場見学会などを実施し、将来の担い手の確保・育成につなげるもの。 また、研修を実施し、若手技術職員の能力やモチベーションを向上させることにより、公共工事を担う北九州市技術職員の確保・育成につなげる。</p>
2		<p>【事業名】 i-Construction推進事業 【事業費】 5 0 0千円</p> <p>【事業概要】 i-Constructionの推進・普及拡大による建設業の生産性向上を目指し、受発注者の技術力向上を図るため、セミナーの開催や現場見学会を実施する。</p>
3	新	<p>【事業名】 公共工事におけるグリーンスチール試行活用事業 【事業費】 1, 0 0 0千円</p> <p>【事業概要】 2 0 5 0年のゼロカーボンシティ実現に向けて地球温暖化対策に率先して取り組むため、また、「北九州市産業振興未来戦略」に基づき産業界の革新的な脱炭素の取組みを促進するため、本市公共工事において、製造工程の温室効果ガス排出量を大幅に削減した鋼材である「グリーンスチール」の試行的な活用を行う。</p>
「彩りあるまち」の実現		
4	新	<p>【事業名】 契約管理システム等再構築に係る調達支援業務 【事業費】 2 0, 0 7 1千円</p> <p>【事業概要】 現行の契約管理システム等の稼働終了（令和1 0年度末）に伴い、新たなシステムの導入を行う。全庁における契約事務の負担軽減と適切な情報公開の推進の観点から、システムに求める機能要件や利用条件並びに情報セキュリティを踏まえた利用環境などの課題をふまえ、システムの開発計画やプロジェクト管理の方針を策定する。</p>
「安らぐまち」の実現		
5		<p>【事業名】 公共工事関連部署における「しごと改革」推進事業 【事業費】 1, 7 9 4千円</p> <p>【事業概要】 「公共工事関係部署のDX推進プラン」にもとづき、市役所の工事関係部署の「しごと改革」を推進する。 主な取り組みとして、オンライン会議(協議)の標準化や、オンライン監督、オンライン検査等を推進するため、技術監理局におけるWeb会議環境やモバイル通信環境を提供する。</p>
6		<p>【事業名】 技術管理関連業務 【事業費】 6 6, 3 6 4千円</p> <p>【事業概要】 予定価格の適正な設定のための単価や積算基準の整備・更新を行うとともに、積算システムの効率的運用を図る。</p>